



GLOBAL DAIRY PLATFORM



GDP/IDF 共同声明

国連食料システムサミット

2021年9月16日

9月23日、世界のリーダーたちが、持続可能なフードシステムに関する画期的な会議のために集まります。

すべての国は、フードシステムが1) 増加する世界人口のために食料安全保障と栄養を提供し、2) 食料生産とサプライチェーンに従事するすべての人々の生計を支え、3) フードシステムの環境持続性に貢献することを確実にするという三重の課題に直面しています。

私たちは、このサミットでのコミットメントの合意において、各国首脳が2030年までの「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に向けて長期的に成功する行動は、以下のようなもののみであることを認識することを願っています。

- 世界各地の農業システムの多様性を包摂するもの
- 食料生産が、国内経済、個々の生計、健康、その他生活の多くの分野と密接に関連していることを認識しているもの

国際社会は、食料システムサミットによる提言が、長期的な食料安全保障と生計を危険にさらす可能性のあるイデオロギーやトレードオフに基づくものではなく、バランスのとれたものであることを必要としています。

世界の酪農乳業界は、持続可能な生産システムを通じて、安全で栄養価の高い食料を世界の人々に提供することをコミットしています。このコミットメントは、2016年に国際酪農連盟 (IDF) と国連食糧農業機関 (FAO) の間で署名された「デーリーロッテルダム宣言」に表現されています。酪農乳業は、国連のSDGsのうち、特に「飢餓ゼロ」、「貧困の緩和」、「ジェンダーの平等」に貢献しています。

牛乳乳製品は、世界中の社会に深く織り込まれた伝統を持つ、人間の食生活における主食の一つです。世界中で何十億人もの人々が日々の栄養を牛乳乳製品に頼っています。牛乳乳製品はもともと栄養素密度の高い食品であり、高品質のタンパク質や、カルシウム、マグネシウム、セレン、リボフラビン、ビタミンB5、ビタミンB12などの微量栄養素を多く含んでいます。牛乳乳製品が世界の栄養と健康に重要な役割を果たしていることは、強い科学的なエビデンスによって支持されています。牛乳乳製品は一生を通じて重要な栄養を提供しますが、特に子どもたちの栄養補給

には重要であり、現在、世界の少なくとも 1 億 6 千万人の子どもたちが学校での牛乳提供プログラムの恩恵を受けています。

国際酪農連盟（IDF）およびグローバル・デーリー・プラットフォーム（GDP）ならびにそれらの会員は、SDGs の達成を加速するというこのサミットの全体的な目標を支持しています。

そのため、両団体はサミットに向けて行われたすべての準備作業に積極的に参加し、世界中の食料安全保障、栄養、生計に酪農乳業が大きく貢献していることへの理解を深めました。

私たちは一貫して、動物性食品と植物性食品は健康的な食生活において補完関係にあり、持続可能なフードシステムの開発と維持において両方が重要な役割を担っていることを強調してきました。

さらに、GDP と IDF は、サミットのリーダーたちに検討してもらうために「ゲーム・チェンジング」の取り組みをいくつか提出しました。また、国々が主導する「持続可能な畜産連合」の開発に貢献したことを誇りに思います。この行動連合は、今後何年にもわたって活動していく予定であり、サミット自体を超えて成果を上げていくでしょう。

IDF と GDP は、「食品安全連合」の活動を支援しています。それは、食品安全はフードシステムの中核であり、国連の SDGs を達成するための鍵であると認識しているからです。良好な食品安全は、公衆衛生を保証し、消費者、農家、フードチェーンの間の信頼を強化し、さらに食品ロスや食品廃棄物を削減するために不可欠です。

フードシステムは非常に複雑で多様な領域であることは明らかです。食料生産に適用できる、単純で単一の行動の青写真はありません。むしろ、複数の選択肢があり、地域のニーズに合わせて様々な持続可能な実践を取り入れることができます。すべての人がより持続可能なソリューション（解決策）を採用することで、私たちは共同して健康な人々と健康な地球を実現することができます。

私たちは、23 日に開催される食料システムサミットに参加する各国首脳に対し、将来のより強靱性のある、安全で健康的かつ公平な世界のフードシステムの発展における酪農乳業の役割を認識することを強く求めます。

IDF 事務総長キャロライン・エモンド GDP 専務理事ドナルド・ムーア

酪農乳業セクターの貢献についての詳細は、[3月の共同声明](#)をご覧ください。

（仮訳：Jミルク）